

会員サービス			
会員種別		正会員	賛助会員
会費		6口以上(30万円～)	1口以上(5万円～)
総会の議決権		○ あり	× なし
FDCサロン等会員向けイベントへの参加		○ 参加できる	○ 参加できる
部会への参加		○ 参加できる ※1	× 参加できない
幹事会資料		○ 会員用HPよりダウンロードが可能	○ 会員用HPよりダウンロードが可能
部会、プロジェクト、コンソーシアム、フォーラム等のイベント資料		○ 会員用HPよりダウンロードが可能 ①開催報告：文書、写真 ②当日配布資料：PDF提供 ③プレゼン資料：PDF提供	○ 会員用HPよりダウンロードが可能 ①開催報告：文書、写真 ②当日配布資料：PDF提供 ③プレゼン資料：PDF提供
バックデータ ※2	オープンデータ(既公開)	◎ 編集可能データ (例：word,excel,ppt,illustrator)	○ 編集不可データ (PDF：閲覧用)
	協議会独自で保有するもの	◎ 編集可能データ (例：word,excel,ppt,illustrator) ※データベースを含む	○ 編集不可データ (PDF：閲覧用)
知的財産 ※3		○ 利用できる	× 利用できない
※1会費以外に別途部会経費が必要な場合があります。 ※2バックデータとは、地域診断のために協議会が使用したデータであり、既に一般に公開されている「オープンデータ」と協議会が独自に作成・編集した「協議会独自で保有するもの」の2種類です。 ※3知的財産は、特許権・実用新案権・意匠権・商標権などの産業財産権を当協議会で所有した場合を想定しています。			

部会			
地域戦略の推進 2011年度に策定した地域戦略の推進のために、2012年度に5つの部会を設置し、部会長のリーダーシップの下で取組むプロジェクトを決定し、プロジェクトリーダーが中心となってフィージビリティ・スタディを行いました。2013年度は、予算および競争的資金の獲得状況を踏まえつつ、プロジェクの事業計画を策定し、事業化を図り、2014年度より事業化の実行に向けた活動を開始しています。		観光部会 【ミッション】 九州全体の交流人口増加と集客交流産業の強化に向けて、福岡都市圏のMICE拠点及びゲートウェイとしての機能を強化する 【部門目標】 ・目的地としての九州の国際的認知の向上 ・インバウンド・アウトバウンドの双方の交流の活性化 ・九州の集客交流にとっての福岡都市圏のゲートウェイ機能拡充	
スマートシティ部会 【ミッション】 福岡都市圏を舞台に福岡の強みを活かしたスマートシティ・モデルを先行確立して、域外に向けたソリューションを移出する 【部門目標】 ・福岡版スマートシティ・モデルの構想および企画の確立 ・福岡版スマートシティ・モデルの国内外での認知の向上 ・九州全体での移出型の新しい環境産業の創出、集積		食部会 【ミッション】 「Food EXPO in FUKUOKA」の開催により産業振興と集客交流の拡大を実現し、福岡・九州の重要な産業である「食」を通じて地域全体の経済成長を図る 【部門目標】 ・福岡・九州の食文化の国際的な高品質ブランド化 ・九州の食産業の高付加価値化と移出型への段階的な引き上げ ・観光や都市再生など他テーマとの相乗効果の最大化	
人材部会 【ミッション】 福岡が国際競争力・雇用創出力を高めて九州を牽引していくために、世界とつながった多様な人材の育成と活躍できる環境づくりを行う 【部門目標】 ・多様な人材が活躍する国際的な社会づくり ・質の高い雇用を創出するグローバルな企業の育成、立地 ・国際的なビジネス・活動に関わる市民の増加		都市再生部会 【ミッション】 持続的な成長を支える質の高い街づくりと、都市のマネジメントの移出産業化のために、福岡都心に投資を呼び込むための枠組みを策定する 【部門目標】 ・経済産業活動と市民の暮らしを支える、質の高い街づくり ・人、企業、投資を呼びこむ枠組みづくり ・街づくりの移出産業化(街づくりノウハウの域外輸出)	

福岡地域戦略推進協議会

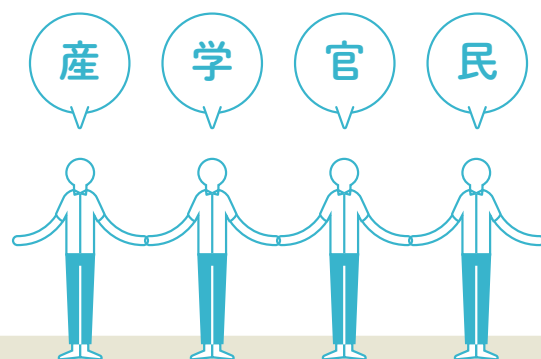
Fukuoka D.C. (Fukuoka Directive Council)



Fukuoka D.C. って何をするところ？

Fukuoka D.C. (以下、FDC) とは、福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために成長戦略の策定から実施までを一貫して行う、産学官民一体のシンク＆ドゥタンクです。福岡都市圏を核として、九州、さらには隣接するアジア地域との連携を図り、事業性のあるプロジェクトを推進していきます。

産学官民が一体となって 質の高い成長ができる 土壌をつくる組織です。



Fukuoka D.C. の基本姿勢

①会員は戦略を実行する当事者(事業組成)であること、②域外の知恵や資本を積極的に誘致・投入すること、③民間活力の投入と公共政策の担保が連動していること、④市民力を成長の源泉に位置付けていることが挙げられます。その他にも、IRBC(国際ベンチマーク協議会)の一員として、シアトルやヘルシンキ、バルセロナ、メルボルン等の都市圏との協働を押し進めていることや、日本政府から地域活性化のモデルとの位置付けを与えられていることなど、産学官民連携の新しい形を目指しています。

FDCの地域戦略

Think:

世界各地からの人材や資本の呼び込み
地域診断に基づく一貫性と論理性のあるストーリーによって、将来像・目標とプロジェクトの繋がりを明確にし、戦略の策定段階から、地域外からの人材や資本の呼び込みを図ります。

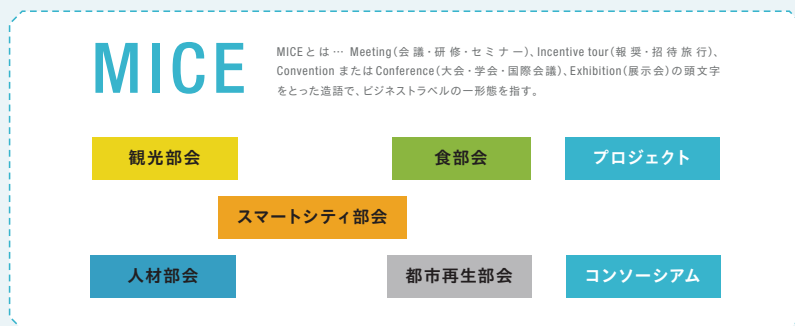
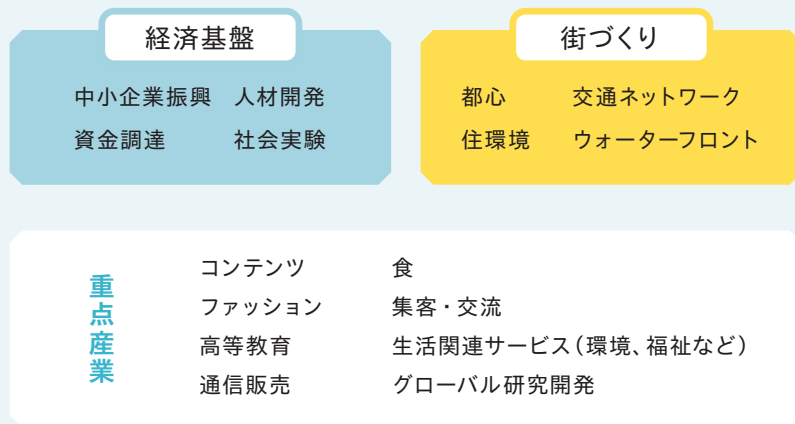
公共的かつ機動的な体制

産学官民一体のプラットフォームにおいて世界的な英知を結集させるために、戦略策定から実施までを一貫して行う社会的なプロフェッショナル集団を置きます。

Do:

会員の責任ある参画と戦略の実行

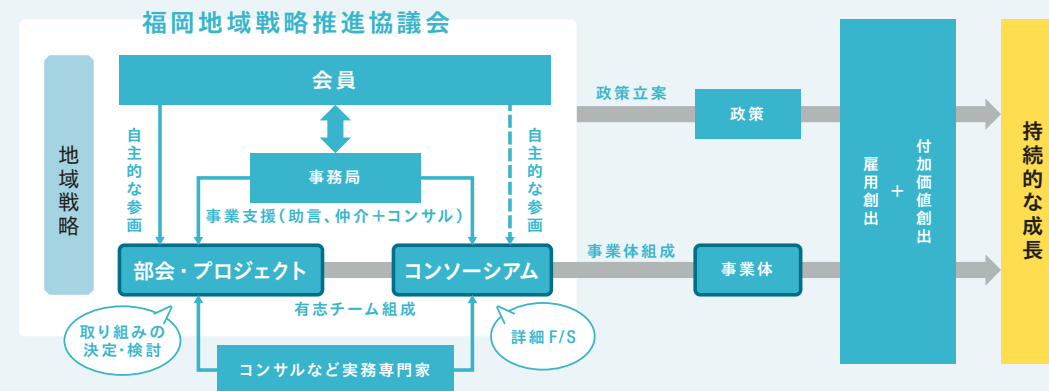
個々の利害を越えて全体最適の視点から、徹底した地域診断を踏まえて、相互に連携しつつスピード感を持って戦略を実行していきます。



FDCの仕組み

世界中がアジアに成長の活路を見出そうとしています。一方、福岡においては、人口増加、支店経済といった従来の成長の源泉の先細りは確実です。FDCは、これまでの福岡の強みを活かしながらも、国際競争力強化の戦略指針を「アジアとの交流の活性化により質を重視した成長を図る」とことと定め、成長の源泉を再構築します。戦略的な位置、質の高い暮らし、九州における中枢性、研究・教育機関の集積など現在の福岡の強みを活かし、成長著しいアジアとの交流を、多様性を重視しつつ段階的に活性化することで、単に「住みやすい地域」から「持続可能な地域」へ、そして「アジア・世界の人々にとっても住みやすい地域」へと質を重視した成長を図ります。

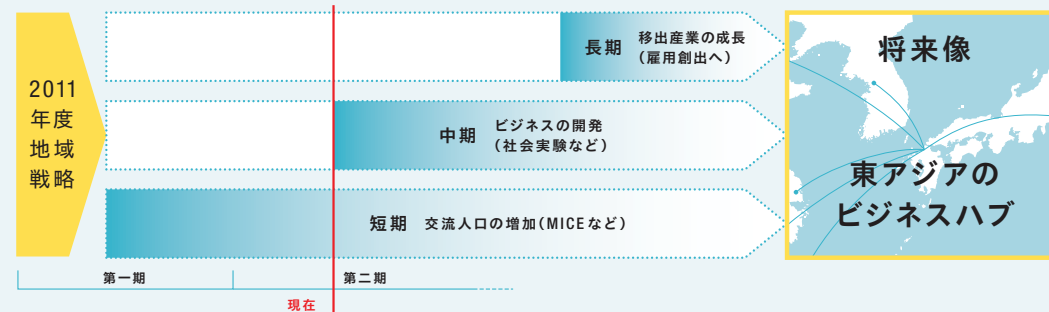
部会、コンソーシアム、事業体の三段階
部会での開かれた検討から、有志による詳細F/Sを経て、事業の担い手を決定。



工程の組み立て

交流の活性化により質を重視した成長をはかります。

[1]域外に向けて挑戦する環境をつくる [2]人材の多様性を強化する [3]革新的・創造的な交流の場をつくる



将来像

達成目標

2010年
2020年

国際競争力の強化により、
ビジネス交流・開発・営業拠点として
「東アジアのビジネスハブ」を築きます。

東アジアのビジネスハブとして日本・中国・韓国・台湾などとのビジネス交流・開発・営業の拠点となり多様な人材が訪れ、働き暮らしている。

福岡都市圏は
国際競争力を備えた
アジアで最も持続可能な
地域をつくります。

交流を活性化することにより、
“質”を重視した成長を目指します。

雇用
+6万人

GRP
[域内総生産]
+2.8兆円

人口
+7万人